

能登半島復興支援 ～絆と希望の響き～ 和太鼓演奏会



能登地方から和太鼓10団体など演奏会 迫力の演奏を楽しみながら復興に協力

令和6年元日の能登半島地震で被災し、復興半ばの和倉温泉など能登地方から伝統芸能の和太鼓チーム10団体が参加した演奏会。たくさんの買い物客が迫力の演奏に魅了されるとともに、被災地復興のための日赤義援金や物販、障害のある子どもたちのための寄付など、楽しみながら被災地復興に協力していました。

4月19日 | モリーブ

第22回 全日本写真連盟 守山支部 写真展



写真愛好家11人の作品約40点 こだわりや想いを伝える力作ぞらり

守山支部の写真愛好家による写真展が開催。スマホなど写真撮影が手軽になっている中だからこそ、メンバーそれぞれのこだわりや技術、想いをつめこんだ力作約40点が並びました。会場を訪れた人は、一つひとつの写真の前に足を止めて「きれいですね」などとつぶやいたり、メンバーの説明を受けたりしながら鑑賞しました。

4月15日～21日 | 市立図書館 多目的室

押し花でつくるthank youフレーム



赤や白、黄色の花で飾る 自分だけの押し花フレーム

色鮮やかな押し花を使った自分だけのフレーム作りを、10人が楽しみました。参加者は用意されたパンジーやアジサイ、ノースポールなど約50～60種類の押し花の中から、色や形、大きさなど、思い思いの花を選んで台紙に配置。ラミネートしてフレームが完成すると、「お母さんに贈ろうかな」「どこに飾ろうかな」などと話していました。

4月26日 | 守山宿・町家“うの家”

建物アカデミー



建築のプロが解説 諏訪家屋敷で家相を学ぶ

江戸時代の趣を残す空間で、建物アカデミー(全3回)が開催。初回講座では家相をテーマに、(株)西澤工務店 代表取締役・西澤 正浩さんを講師に迎え、13人の参加者が聞き入りました。資料を交え、基本的な家相の概念や、それが日本において時代とともにどのように生かされてきたのかを、分かりやすく解説されました。

4月19日 | 大庄屋諏訪家屋敷

守山市の人口

令和8年4月30日現在
(前月比)

人口	86,011	(- 38)
男	42,221	(- 33)
女	43,790	(- 5)
世帯数	36,209	(+ 31)

「守山はたるとや」おまがりほたるとして、再び戻ってきたのである▼スマートフォンの時代においても、その光は、なぜか懐かしい気持ちで包み込んでくれる▼この光が舞う風景は、1年間の活動のご褒美だ」とある人が言った。守山のホテルは多くの人に守られながら、私たちのすくすばに棲んでいる。夕涼みをかねて、少し散歩してみませんか。思いがけないところに魔物がいるかもしれない…。(の)



守山には、人の心を惑わせる魔物が棲んでいる。市内のあらゆる